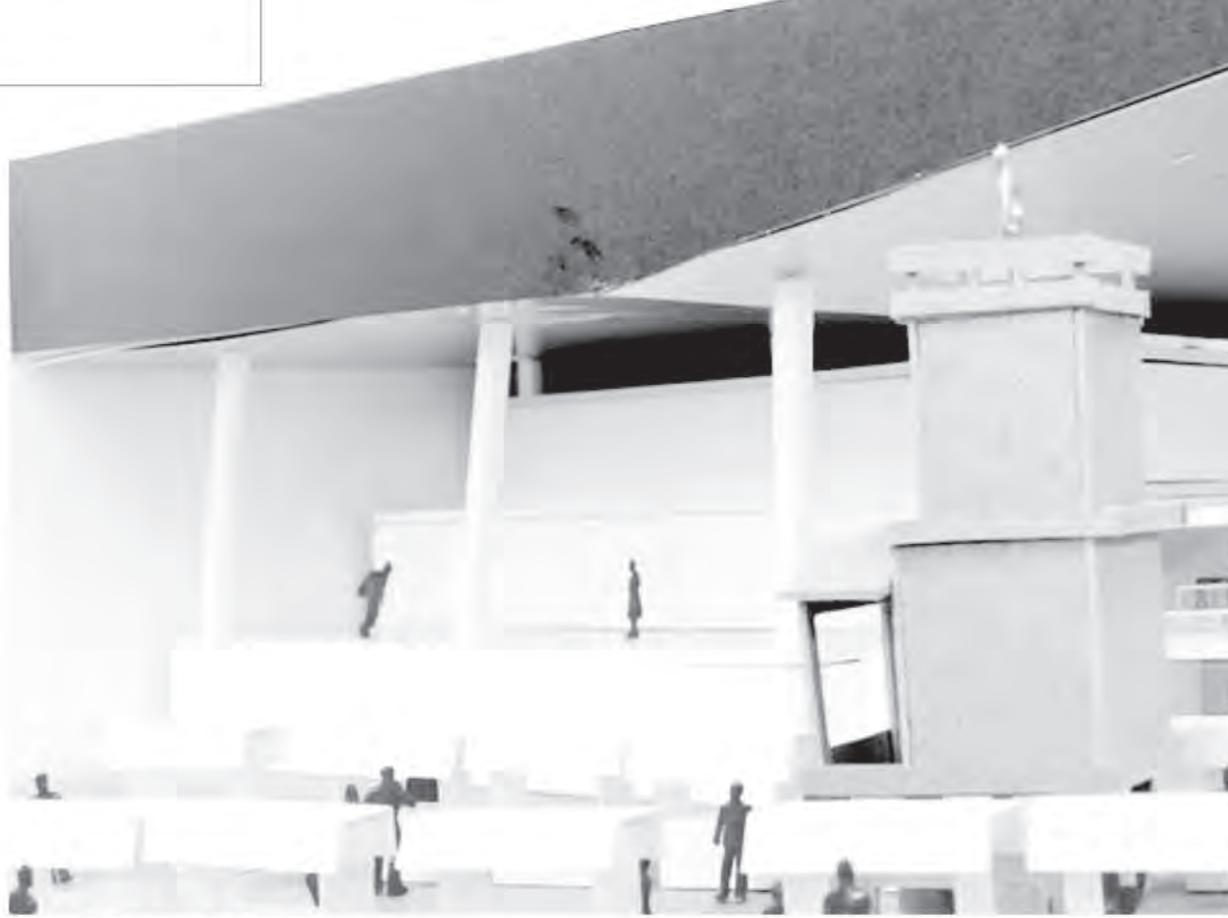
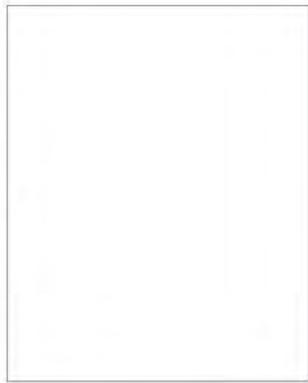
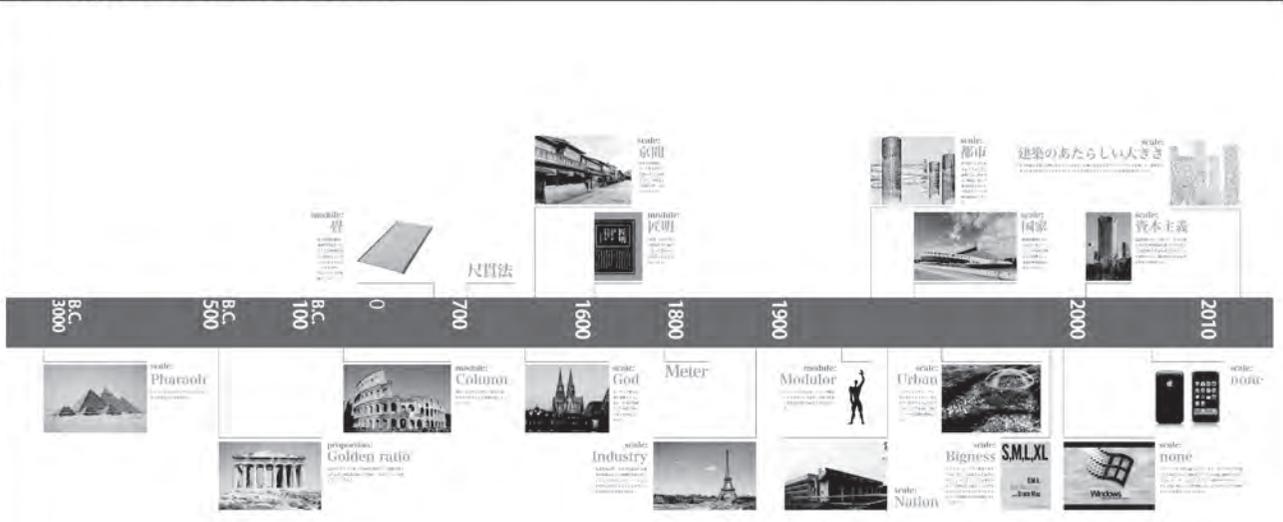


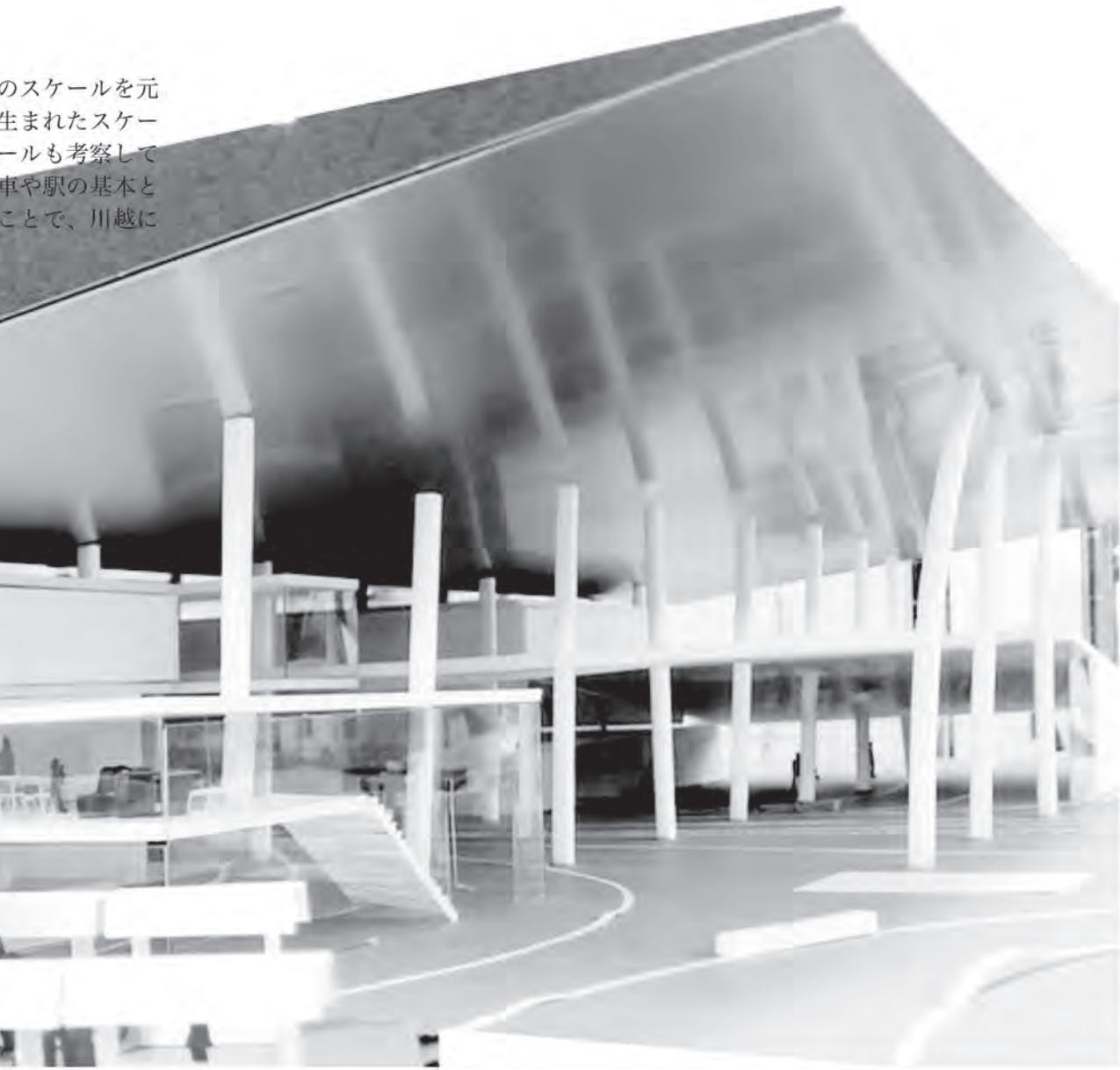
川越には山車のスケールによって作られた街空間がある。駅というのは電車で設計されていることが基本であるが、前述のような祭りという非日常からスケールを元にしてできた街空間を持つ川越に存在する駅は街と同様に山車のスケール設計されるべきであると考えた。よって、この建築はそのような街を作る山なる電車を等価に扱い、それぞれを横断したスケールで構成した設計をするおける駅を構成するスケールの新しい在り方を提案する。



History of Scale and Module



のスケールを元
 生まれたスケ
 ールも考察して
 車や駅の基本と
 ことで、川越に



SITE



川越の構成と敷地の関係



川越祭り



祭りが生んだ街空間スケール

電線の地

川越の街中には祭りの主役である山車のスケールを元にできている場がある。例えば、一番街の電柱は地中化されている。それは、山車が通る際に電線が邪魔にならないように配慮されてのことである。そのような山車のスケールが開放感のある良い街並みを作っている例である。

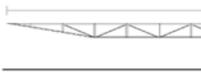


川越には17世紀半ばから継承され、国の無形民俗文化遺産にも登録された「川越祭り」がある。川越祭りは江戸の山車文化を継承し、発展させた川越独自の山車が特徴である。高さ8m以上あり、町衆が縄を引くと全長3-40mほどの長さになる山車を、川越市の町単位で所持しており、現在、その数は29基となっている。祭りの間は、その山車が中心市街地を中心に街中を曳行する。

Diagram

プラットフォームの位置

大屋根を構成する



Wall

the shopping center stands between the platform and the city



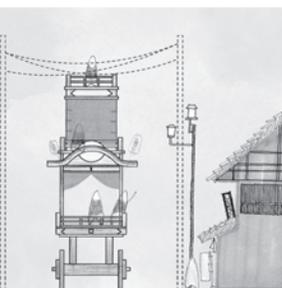
Remove

the shopping center from the front of the platform

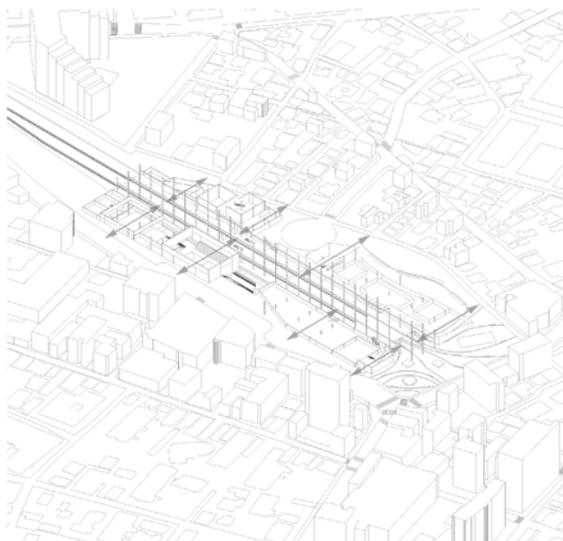
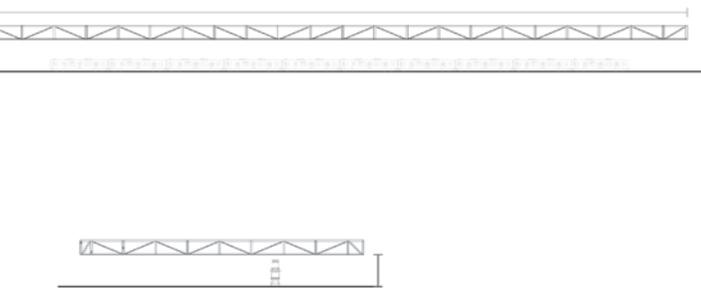


Move

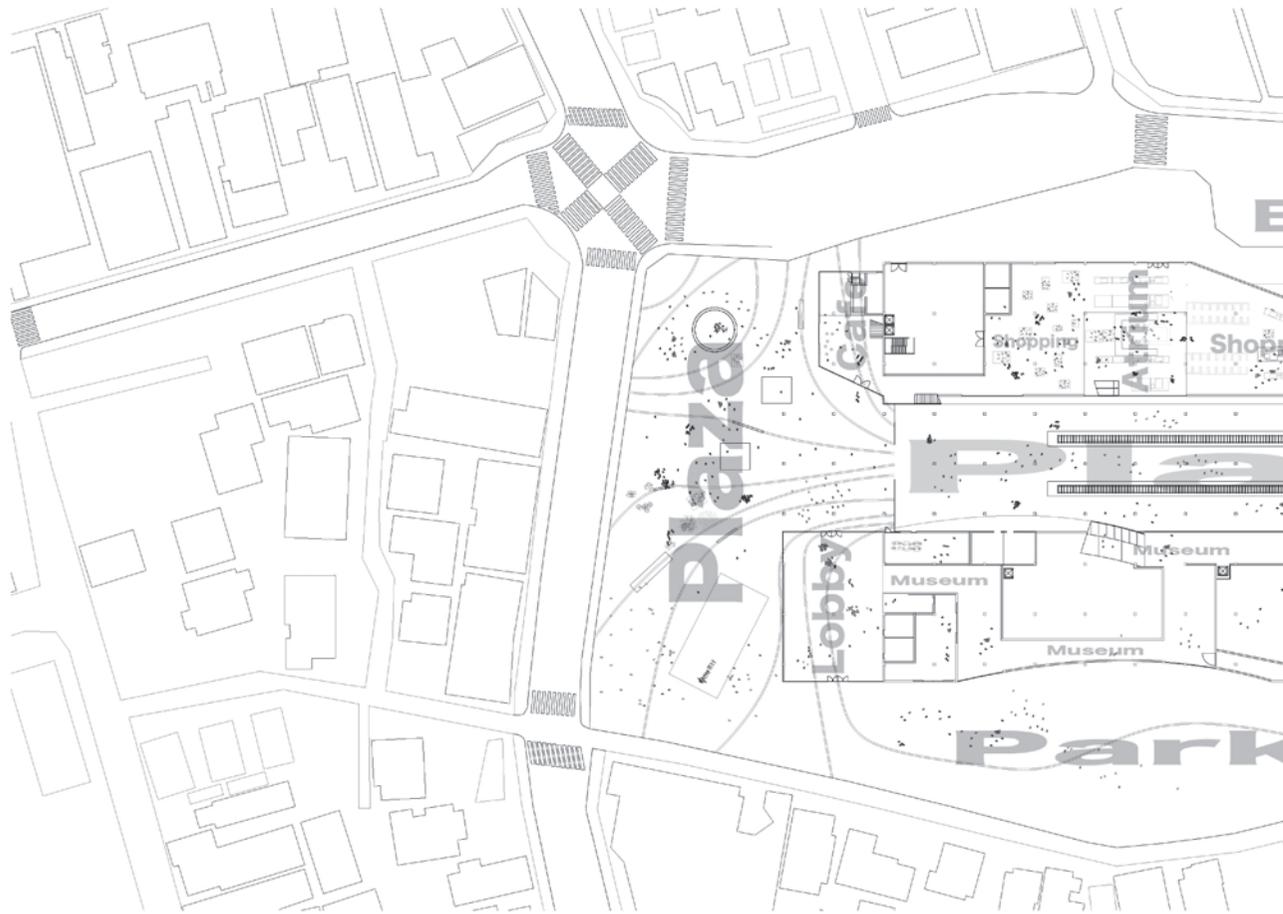
the platform to the city closer



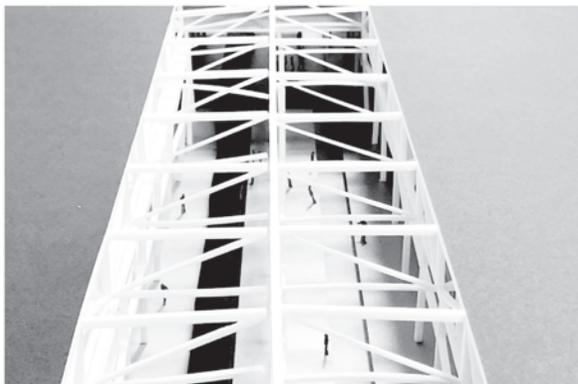
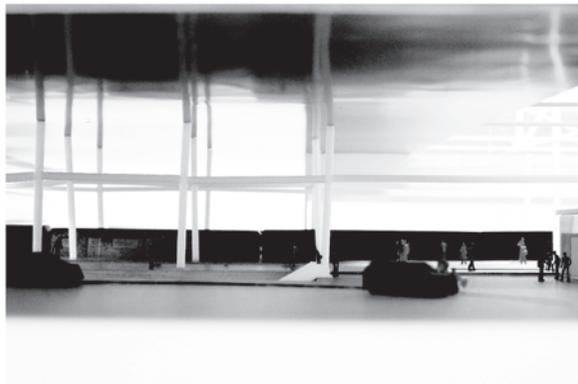
本川越駅は周辺の道路が広いこともあり、
現在、祭りの際には多くの山車が通るエリ
アとなっている。



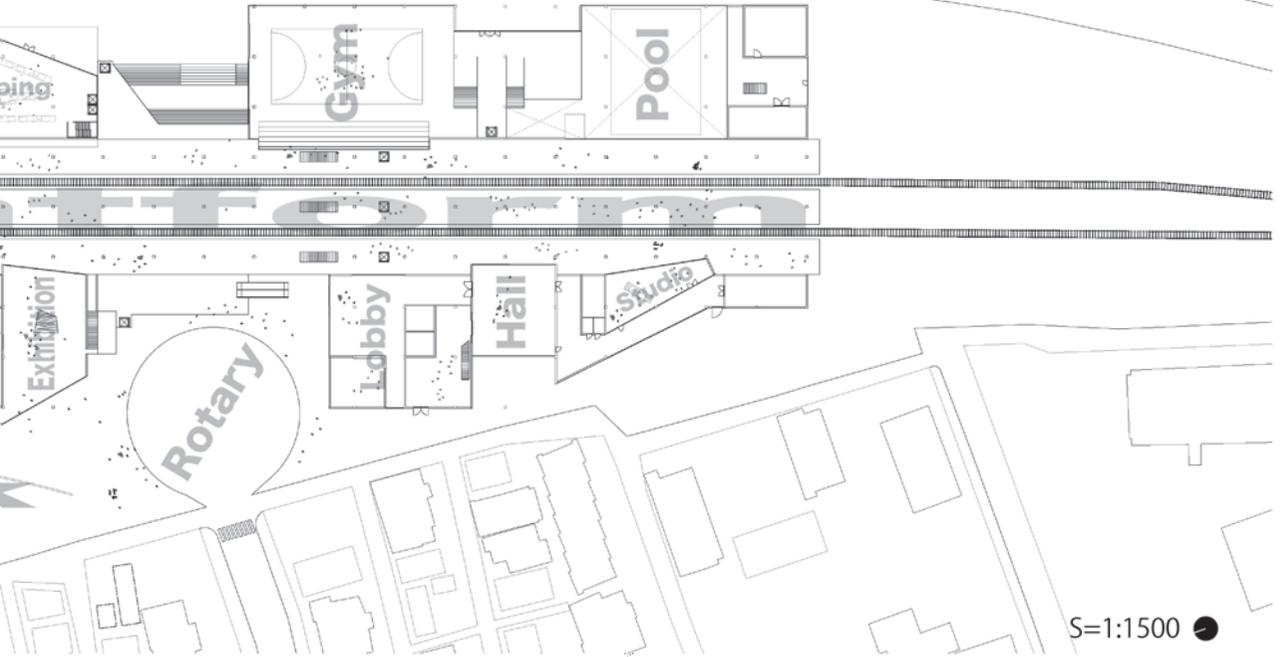
Site Plan



Photos of Model



Bus rotary



S=1:1500 ●